

新潟市マンガ・アニメ情報館

新潟市マンガの家

令和4年度 指定管理業務報告書

- 1 入館状況
- 2 施設管理運営状況
- 3 情報館 実施企画展
- 4 家 実施企画展 特別講座
- 5 施設間連携 アウトリーチ
- 6 広報活動
- 7 普及啓発事業
- 8 その他

新潟市マンガ・アニメ情報館 新潟市マンガの家 指定管理者

にいがたアニメ・マンガプロジェクト共同体

代表法人 学校法人国際総合学園

1. 入館状況

令和4年度入館者数：新潟市マンガ・アニメ情報館	177,227人
新潟市マンガの家	27,154人
2館合計	204,381人
(2館合計目標140,000人に対し146%)	
マンガの家講座受講者数	3,262人

※別添資料：情報館 R04年度減免規定・団体利用者数（年度まとめ・月別）

令和4年度における新潟市マンガ・アニメ情報館（以下、情報館）と新潟市マンガの家（以下、家）の運営は新型コロナウイルス感染対策を据えた「安全性と集客のバランス」を主なテーマとしながら、特に新規固定支持層の拡大を図る取り組みを進めた。今年度中も第7波、8波と大きな感染拡大期はあったが、当施設でのスケジュールの変更や集団感染などには至っておらず、前述のような運営テーマに対して高次元の結果をもたらすことができた。コロナ期も3年を迎え、施設運営側、お客様側共に新しい生活様式や運営方法への理解が進み、対策への抵抗感・違和感が低くなってきたことも要因のひとつと考えている。また、2023年は開館10周年の年でもあることから、アニバーサリーイヤーを冠した両施設のプロモーションをスタートさせるなど、独自の話題づくりにも注力してきた。

情報館の企画展は7月開催の『東京リベンジャーズ展』のような業界1番人気の作品からファミリー向けのものまで幅広い価値のラインナップで展開した。特に11月～1月にかけて開催し、大好評を得た『すみっこぐらし展』は昨年度に引き続き開催した作品でもあり、特にヤングファミリーを中心に今年もリピート来館させることで固定支持層の獲得と認知の広がりにも貢献できた。また、9月～10月開催の『ジョジョの奇妙な冒険アニメ10周年記念展』や1月～3月開催の『五等分の花嫁展』などは、幅広い年齢層に人気のある作品でもあることから多くの新規来館者の獲得につながった。3月には開館10周年記念として過去開催してきた企画展すべての広報ポスターを一堂に展示する『10周年ポスター展』を開催。同じく3月に市内で初開催された新潟国際アニメーション映画祭のお客様や業界関係者などにご覧いただいたことで館の存在認知につながった。県立万代島美術館『庵野秀明展』や新潟県食品流通課『新潟米×五等分の花嫁』との広報連携を取り込み、オリジナルポスターやフォトスポットの設置などを行うことで広域かつ地域貢献を兼ねた集客につなげた。

家では入館人数が少人数に限られるため引き続き人流のリスクを避け、企画展の開催を抑えつつ、日々少数でも数値を積み重ねることができる体験講座を主力として展開した。そんな中でも7月～8月に開催した『belneのコミックワークショップ展』は全国でも珍しいマンガ教育のノウハウを伝える内容であることから、作家支援をテーマとした家のコンセプトを表現することができた。近隣新潟小学校の地域教育課題の研究先として生徒さんを受け入れるなど、小中学校の研修先としての施設利用も多くなってきた。コロナで休止していた出張講座も要望が増えてきており、今後の学校団体利用促進として積極的に学校、他施設との連携を行った。3月には市外の三条市立図書館での連続出張講座をスタートさせるなど、より広域な館の認知を進めた。施設本丸の体験講座「マンガのいっぽ」は、内容を時流や業界のトレンドに合わせブラッシュアップし

好評を得ている。夏休みと冬休み時期には地域の小学校に講座内容のチラシを配布するなどし、地元リピーターの獲得、拡大につなげた。来館者への声掛けやサービスオペレーションを精査し、講座スペースのレイアウトを変えるなどした効果もあり、結果講座参加者数は目標の3倍以上を獲得した。

これらを重ね、本年度は両館合わせて20万人という開館以来最高の結果を得ることができた。開館から10年の間で蓄積してきたノウハウと、コロナ期を経て得た安全で効率的な運営方法が高い次元で昇華させた1年であったと自負している。アフターコロナ期になるであろう11年目に向けて最高の礎を築くことができた。

2. 施設管理運営

施設運営については消毒などの感染対策オペレーションの常態化と共に、嵩む感染対策費用や高騰が止まらない光熱費をにらみ予算管理に対してきめ細かく対応してきた。また開館から10年を経過し、老朽化した箇所や機器のメンテナンスや交換、代替展示も増えてきているため、修理修復費用の捻出も大きく経費を圧迫している。物価高は全てにおいてピークとなり、施設維持や企画展経費にも大きく影響した。文化的価値を落とさない施設運営を続けていくために10年間蓄積してきた経験値をフルに活かし、可能な限りの経費削減、コスト管理をスタッフ全員で強く意識し運営にあたった結果、過去最高の入館実績と共に事故無く施設を運営することができた。

3. マンガ・アニメ情報館

(1) 常設展

①ピックアップコーナー

- ・例年通り、直近に行った企画展を振り返ることができるポスターを展示。
- ・色紙や複製原画を展示するコーナー「にいがたマンガ・アニメーションギャラリー」のスペースが足りなくなってきているので、色紙の一部（※過去開催の絵師100人展サイン会のゲストのサイン色紙）を移動して展示。
- ・その他新潟ゆかりの作家、クリエイターの作品を展示及び紹介するスペースとして活用した。



(2) 企画展

① 「黒執事展 -Rich Black-」

開催期間：2022年4月9日(土)～5月8日(日)

主 催：黒執事展新潟実行委員会（新潟市／BSN 新潟放送／新潟市マンガ・アニメ情報館）

入館者数：4,547人

「黒執事」（著・枢やな）は月刊「Gファンタジー」（スクウェア・エニックス刊）で2006年10月号より連載スタート、15周年を迎えた。日本のみならず世界中で人気を博し、TVアニメ、劇場アニメ、ミュージカル、実写映画などを経てコミックスはシリーズ全世界累計3,000万部を突破している。

本展ではテーマカラーの「Rich Black」（黒に様々な色を重ね合わせてつくる、黒より深い黒）を基調にした世界観でビジュアルを統一し、枢やな自筆の美しいイラストや、数々の名シーンを振り返る連載原稿の原画・資料など、約350点を展示した。

手描き原画の展示の他、作者のデジタル作画への移行による出力原画の展示、プロジェクターを使用した演出、衣裳の展示と展示内容が多く、また、映像以外の展示品の撮影が許可されていた為、館内に長く滞在していた来館者が多かった。客層は10～30歳代女性が中心で、中高生の来館人数が全体の11.6%と若い世代に非常に人気のある作品である。



② 「TOKYO 卍 REVENGERS EXHIBITION RETURN」

開催期間：2022年6月4日(土)～7月18日(月・祝)

主 催：東京リベンジャーズ展新潟実行委員会（新潟市／BSN 新潟放送／新潟市マンガ・アニメ情報館）

入館者数：14,478人

2017年より「週刊少年マガジン」で連載開始、累計5000万部を突破した大人気漫画『東京卍リベンジャーズ』。東京・大阪で開催された「TOKYO 卍 REVENGERS EXHIBITION」を地方巡回という形で再開することを記念し、「TOKYO 卍 REVENGERS EXHIBITION RETURN」へと名前を変更し、展示内容を詰め込みリニューアル。名古屋での開催後、当館で開催となった。

客層は10～30歳代女性が中心。土日祝日には家族連れも多かった。

非常に人気なコンテンツであることから初日から3日間は「前売券のみ日時指定制」としたが、初日は1,000人を超える来館者が訪れた。また、45日間と長い開催期間の中、平日でも来館者が100人を下回ることがなかった。



【関連イベント】

(1) ARスタンプラリーの設置

万代ビルボードプレイスを中心に二次元コードのラリーポイントを合計10か所設置。すべてのスタンプを集めるとスペシャル壁紙画像をプレゼントする新潟市内周遊ラリーイベントを開催した。



(2) 巨大タペストリー (10 キャラクター分) を設置

設置は会場ごとに任意ではあったが、万代ビルボードプレイスと交渉して、10キャラクターの巨大タペストリーを共用部に設置。多くのファンが撮影に訪れた。



③ 「絵師 100 人展 11 新潟篇」

開催期間：2022年8月6日(土)～9月11日(日)

主催：絵師100人展11新潟篇実行委員会（新潟市／NST／新潟市マンガ・アニメ情報館）・産経新聞社

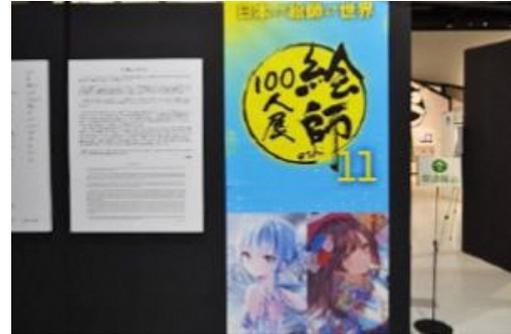
入館者数：2,734人

毎年恒例開催となった「絵師100人展」を本年度も開催。第11回となる今回は「未来」をテーマにした人気絵師達の作品を展示。毎年4月～5月に東京・秋葉原で開催されており、人気を博している企画展である。

今回はチラシを印刷しない代わりに初めて“Twitter 広告”を出稿した。「新潟県内と隣県の男女で、イラストレーターに興味



のある人」をターゲットとしてプロモートツイートを展開したが、結果として全体の3割が10代～20代の女性へのアプローチに成功し、今まで開催してきた絵師100人展の中でも若い女性の来館者がとても多く、夏休みの背景があるものの、有料来館人数や物販売上金額も過去最大となった。



④ 『「ジョジョの奇妙な冒険」アニメ10周年記念展』

開催期間：2022年9月17日(土)～10月10日(月・祝)

主催：ジョジョの奇妙な冒険アニメ10周年記念展新潟実行委員会

(新潟市／株式会社ライブポート／NST／新潟市マンガ・アニメ情報館)

入館者数：11,729人



「ファントムブラッド」から「ストーンオーシャン」までのアニメーションシリーズのキャラクターたちが大集結する初の記念展示会。歴代ジョジョたちの戦いの記憶を辿ることができるシリーズ10年間の軌跡を振り返る。

原作は35年前から現在も連載されているかなり古い作品なので、当初は比較的高齢でコアなファンが訪れると予想していたが、現在放送されているアニメ放送が未就学児を含む若い世代の方が多く視聴していることもあり、家族連れを含めた幅広い層のファンが多数来館した。

また、展示規模の大きさから情報館内では展示品が収まらず、隣の空き店舗のエリアを別会場に設定。物販会場もこの空き店舗を会場とした。





⑤ 「すみっこぐらし展 10th Anniversary ～すみっこ表彰式～」

開催期間：2022年11月19日(土)～2023年1月9日(月・祝)

主催：すみっこぐらし展新潟実行委員会

(新潟市／サンライズプロモーション北陸／BSN 新潟放送／新潟市マンガ・アニメ情報館)

入館者数：25,045人

すみっこぐらし 10周年を記念した企画展。東京、宮城、神奈川で開催され、当館で4カ所目の会場となる。デパートで開催される企画展（物販がメイン）なので、入場料の設定が低価格となっている。また、来館者のメインターゲットは「女児のいる家族連れ客」である。

会期中の12月19日に大雪に見舞われ、その後5日間ほど来館者数が落ち込んだものの、年末年始は来館者数が爆発的に増え、朝から午後6時まで入館待機列が消えない日もあった。





⑥ 「五等分の花嫁展 MEMORIES petit」

開催期間：2023年1月14日(土)～3月5日(日)

主催：五等分の花嫁展新潟実行委員会

(新潟市／BSN新潟放送／新潟市マンガ・アニメ情報館)

入館人数：9,036人

東京で開催された「五等分の花嫁展 MEMORIES」を地方巡回用に一部展示内容の変更&規模縮小をして「五等分の花嫁展 MEMORIES petit」として開催。仙台、福岡に続いての当館が3か所目の開催となる。

客層は中学生～成人男性がメインであったが、女性だけの来館者も多く見受けられた。当館では2020年2月～3月に「五等分の花嫁展 REVIVAL」を開催。その際も特に中高生男子が多く来館していたが、3年前に比べて女性ファンが増えていることが窺える。

開催期間中の1月23日に新潟市は大雪に見舞われ、その後10日間ほど来館者数が落ち込んだものの、2月に入ってからは来館者数が順調に伸びた。原作のマンガ連載が終了した今でも、力を感じる人気コンテンツである。





(3) その他イベント

情報館においては、五等分の花嫁展の最終日（令和5年3月5日）の翌日から4月2日まで、常設展示室のみの開館であった。この期間は新潟市内において3月17日～22日の間、「新潟国際アニメーション映画祭」が開催。また、全国旅行支援の後押しにより県外からの観光客の増大を予想し、集客を図るべく実験的な試みも含めていくつかのイベントを開催した。

① 10周年記念ポスター展

開催期間：2023年3月10日（金）～4月2日（日）

場 所：企画展示室（旧本棚前）※常設展入館者が閲覧可能

情報館とマンガの家の両館で過去10年間に開催してきた数々の企画展を当時の広報用ポスターで振り返るコーナーを設置。ポスターの展示点数は96点。当時の絵柄付きチケットも展示した。



② 五等分の花嫁×新潟米コラボビジュアル（大判ポスター）の展示

展示期間：2023年3月14日（火）～3月31日（金）

場 所：情報館外壁

新潟県農林水産課食品流通課による新潟米販促キャンペーン『新潟県×五等分の花嫁 コメ推し風太郎の五等分レシピ』とタイアップした展示企画。同キャンペーンが3月5日まで当館で開催していた『五等分の花嫁展』と同じ時期であったため、双方のPRの意味を含め展開に協力してきた。同キャンペーンの描き下ろしビジュアルを使用した当館だけの等身大フォトスポットとしてデザインし、施設外壁に大判掲出。新潟米関連の展示と合わせ展示し、同作ファンと地域産業への貢献を果たすことができた。



③ 「狂気山脈ネイキッド・ピーク」パイロットフィルム+制作ドキュメンタリー放映

放映期間：2023年3月17日（金）～4月2日（日）

場 所：情報館常設展示室ミニシアター

同作制作支援プロモーションに協力し、同作動画素材を当館ミニシアターにて繰り返し上映した。同作はTRPGで人気を博し、次の展開として劇場用アニメーションの制作を目指している。制作資金をクラウドファンディングで募集したところ、1億円を突破したことから話題となった。他施設では京都国際マンガミュージアムなども当館と同様に協力している。既成作品だけでなく、今回のような未来の制作支援に関わることで施設の新たな利用価値の実例としていく。



④ 「狂気山脈ネイキッド・ピーク」まだら牛監督在廊、資料展示（生原画、セル、立体物の展示）

開催日：2023年3月25日（土）10:00～17:00

場 所：情報館常設展示室旧ミュージアムショップエリア

同作原作者まだら牛氏が、制作資料展示と合わせ来館。約150人のファンと展示会場にて交流した。まだら牛氏は開催時間中、適度な間を取りながら一組ずつ会話や写真撮影に応じていたが、感激して涙を流すファンの方もおり、クラウドファンディングの結果に表れたようなファンの熱い期待感を実感できる会場となった。



⑤ 落書きコーナー

開催日：2023年3月10日（金）～4月2日（日）

場所：情報館常設展示室旧受付の仮設壁面

情報館では2016年7月より受付を館外に設置しており、通常は旧受付を「仮設壁（厚手のベニヤ板製）」で囲んで企画展示室の展示エリアの一部として使用しているが、長期に渡って使用することにより仮設壁に歪みが生じてくる為、定期的に新しく立て直す必要がある。

次年度よりこの仮設壁を新しく立て直す予定で、今まで使用した壁面は廃棄処分する予定であったが、廃棄する前に来館者に楽しんでもらえるよう、壁面を急遽「古町と団五郎の落書きコーナー」とした。今回初の試みではあったが、下記の写真にもあるとおり海外のお客様も含め、たくさんの来館者に楽しんで頂けた。



4. マンガの家

【常設展】

本年度は下記のマンガ本を蔵書に加えた。

作家名	タイトル	巻数
仲曾良ハミ	しなのんちのいくる	1

※既存の蔵書の抜けている巻の補充の他、新潟ゆかりの作家の作品や両館で開催した企画展の作品を購入している。

※本年度は光熱費の高騰により、経費削減のため上記のみの購入とした。

【企画展】

- ① 第25回文化庁メディア芸術祭功労賞受賞記念
新潟とマンガとマンガ教育 belne のCWS（コミックワークショップ）展

開催期間：2022年7月7日（木）～8月23日（火）

主催：新潟市マンガの家

協力：第25回文化庁メディア芸術祭

入館者数：4,689人



長年に渡り同人誌即売会新潟コミティアでコミックワークショップを行い、にいがたマンガ大賞の二次審査員も務め、現在は開志専門職大学で教鞭を取る belne 氏の、教育の軌跡、マンガ情報誌「ぱふ」の漫画教室をはじめとして、コミティア（コミティア・新潟コミティア・関西コミティア）でのワークショップから京都精華大学でのマンガ教育、現在の開志専門職大学アニメ・マンガ学部での「大学におけるマンガ教育」を俯瞰する。

また開志専門職大学アニメ・マンガ学部教員の雑賀忠宏氏とのコラボ授業など、現在の大学におけるこれからの「マンガを学ぶとは」何か…をも本展を通じて考察する。

- ② 『マンガ王国 新潟が育てた クリエイターの卵たち』開志学園高等学校作品展

開催期間：2022年12月15日（木）～2023年1月31日（火）

主催：新潟市マンガの家

協力：開志学園高等学校

入館者数：2,370人

新潟で唯一、高校でマンガ家やイラストレーターの技能を教える学科を持つ開志学園高等学校。そのマンガクリエイトコースの在校生が共通のテーマで描いた作品約50点を展示。同校は毎年開催される『にいがたマンガ大賞』に多数応募。3度の大賞受賞をはじめ数々の上位受賞歴を誇っており、まさに『マンガ王国新潟』に若い裾野を広げてきた存在と言える。

新型コロナウイルスの影響を受け、今年も通常通りの学園祭が開催できず、在校生たちは作品

を発表する場を失っており、そんな状況にある『卵たち』を支援すべく作品展を開催。当館での開催は2回目となる。会場では作品展示の他、在校生が制作したオリジナルイラストのぬりえも楽しめる。

■新潟は宝庫!? 令和時代の人外（じんがい）たち



■さよなら思い出の制服



③ 第25回にいがたマンガ大賞作品展

開催期間：2023年3月2日（木）～4月11日（火）

主催：にいがたマンガ大賞実行委員会

（新潟市／株式会社ガタケット／JAM 日本アニメ・マンガ専門学校／開志専門職大学 アニメ・マンガ学部）

入館者数：3,210人

毎年恒例の展示会。昨年同様、にいがたマンガ大賞受賞作品を各部門に分け、6週に渡って展示。新潟ゆかりのマンガ家の皆さんからいただいた応援イラストも展示した。合わせて作品集の販売も行うなど、にいがたマンガ大賞の窓口としてマンガの家の認知を広げる機会にもなっている。



【その他イベント】

① 「新潟コミティア見本誌読書会」

開催日：2022年7月3日、12月11日、2023年2月5日

創作系同人誌即売交流会「新潟コミティア」では、イベント開催時に参加サークルへその回の新刊同人誌の提出を依頼しており、「見本誌読書会」は、提出されたその同人誌を閲覧できる場所となっている。

本年度は年間3回に渡って上記イベントを開催した。



【マンガ講座の実績】受講総数 3,262 人

講座名	内容	開催回数	参加人数
マンガのいっぽスタジオ	マンガ講座講師によるマンガorイラスト制作実演+マンガのペン体験を実施。マンガづくりのお悩みやコツなどの質問にも答える。	168回	70名
はじめてのコピックマーカー講座	プロのマンガ家やイラストレーターも愛用する『コピックマーカー(カラーマーカー)』の基本技法をぬりえで学ぶ。	17回	153名
はじめてのスピード線&集中線講座	スピード感や迫力を表現するスピード線・集中線を実際に描いて使い方を学ぶ。	2回	0名
はじめてのトーン講座	マンガ原稿に貼るスクリーントーンの使い方を学ぶ。	9回	20名
はじめてのベタぬり講座	マンガ原稿の指定された部分を黒く塗りつぶす「ベタぬり」を学んで、ツヤツヤの黒い髪やロボットの光沢、顔や服の影を表現する。	6回	16名
色鉛筆テクニック講座	色鉛筆でぬりえをする際のテクニックを学び、ぬりえを通して様々な「質感」を表現する。	10回	16名
デジタルイラスト体験会	iPadを使ったデジタルイラストソフト体験会。	19回	82名
古町と団五郎 きせかえコレクション	花野古町と笹団五郎を自由にコーディネートするイベント。	3回	9名
世界を創ろう！ かんたんストーリーメーカー！	キャラクターのカードと背景のシートを組み合わせて、自分だけの「ものがたり」を作成する。	9回	16名
誰でもカンタン！ キャラクターの顔を描いてみよう教室	目、鼻、口と顔の各パーツを並べ、それを基にキャラクターの顔を描く。	9回	14名
はじめてのかんたん4コマ教室	4コマ目が空白の各種素材に最後の「オチ」を描き加え、4コママンガを完成させる。	12回	36名
季節の花のイラスト講座	プロのマンガ家、イラストレーターが使用する画材を使って季節の花を描く。	2回	6名
金メダル缶バッジ作成会'22	自分やご家族、お友達が頑張っていた事、新生活に向けた決意・目標などを金メダル缶バッジにする。	2回	6名
みんなで彩る！ 新潟市マンガの家こいのぼり祭	「こいのぼり」をテーマにしたぬりえ素材を完成させて、館内に「こいのぼり祭」を再現する。	5回	23名
雨空彩る！ アンブレラスカイを作ろう！	「傘」をテーマにしたぬりえ素材を完成して、館内に「アンブレラスカイ」を再現する。	4回	6名
願いが叶いますように… 七夕短冊づくり体験会	願い事を込めたイラスト入りの短冊を作成する。	7回	28名
夏のご挨拶にいかがでしょうか？ 暑中お見舞いイラスト作成会'22	色鉛筆やコピックマーカー、iPadを使って暑中お見舞いを作成する。	4回	59名
ぬりえで仮装！ ハロウィンマスク!2022	仮装イベントに向けて、ハロウィンのお面素材に色を塗って完成する。	2回	3名
みんなで作ろう！ ハロウィン百鬼夜行パレード!2022	「モンスター」をテーマにしたぬりえ素材を作成して、館内にハロウィン百鬼夜行パレードを再現する。	2回	6名
クリスマスカード& 年賀状作成会'22	色鉛筆とコピックマーカーを使ってクリスマスカードや年賀状を作成する。	6回	58名
つくってあそぼう！ 節分 鬼マスク2023	豆まきの準備として、鬼のお面素材に着色して完成する。	4回	15名
作っておくろう！ バレンタインカード2023	色鉛筆とコピックマーカーを使って、バレンタインカードを作成する。	4回	12名
みんなでつくろう！ ひな祭りパーティ2023	「ひな祭り」をテーマにした作品を募集して、「ひな祭り」特設コーナーに展示する。	2月5日 ~3月5日 募集	12名
缶バッジ制作ワークショップ	毎日開催。オリジナルの缶バッジを制作する。	毎日	1531名
ぬり絵・ベタ塗りコーナー	ぬりえの素材と画材を置き、講座時間以外でも制作に取り組める。	毎日	1065名
		合計	3262名

5. 施設間連携 アウトリーチ

情報館・家の施設間連携は企画展関連講座の展開を中心に以下の通り実施。

情報館	家
魔法少女まどか☆マギカ 10(展)	関連書籍おすすめコーナーを設置
黒執事展 -Rich Black-	テーマ「ダークファンタジー特集」等 オススメ本棚設置
TOKYO 卍 REVENGERS EXHIBITION RETURN	テーマ「青春全部を詰め込んだマンガ」等 オススメ本棚設置
ジョジョの奇妙な冒険 アニメ 10 周年記念展	テーマ「人間って関係性ってなんだかとても愛おしい」等 オススメ本棚設置
五等分の花嫁展 MEMORIES petit	テーマ「キラキラ青春ラブストーリー特集」等 オススメ本棚設置

家では、マンガ制作の一工程である「ベタ塗り」の練習をする素材と、創作活動をどの年代の参加者も楽しめるように「ぬりえの素材」をワークショップコーナーにて提供している。69種類(2023年3月末現在)から25種提供出来る様にした。また、リピーターにも楽しめるように、季節に合わせた素材も作成し、随時入れ替えを行った。特別な技術を必要とせず短時間で達成感を得られるため、年間のべ1065名の参加があった(2021年度年間参加者943名、昨対比112.9%)。

また、無料マンガ基礎講座「マンガのいっぽ」スケジュール及び缶バッジワークショップ、各月のテーマに沿ったベタ・ぬりえ素材を掲載したチラシを毎月作成しており、情報館・マンガの家の他、新潟駅万代口 観光案内センターにも設置。来館者の増加に効果があったと感じている。

夏・冬休みの期間、特別に開催する講座内容を記載したチラシを地域の小学校に配布した。このチラシに関しては期間中だけでなく、夏であれば9~11月、冬であれば2~3月、そして次年度4月まで、当該チラシをキッカケとした参加者が年間参加者の内29.7%と最も多く、年間参加者の増加に大きな成果を上げた。マンガ制作をより身近に感じてもらうためにも、今後も積極的にチラシを制作して配布する。

オリジナルの缶バッジを制作するワークショップを開館日は毎日開催。参加者が描いたオリジナルのイラスト、もしくは情報館・家スタッフが作成したぬりえ素材(2023年3月現在16種類)に参加者が着色した作品を無料で缶バッジにする内容で、手軽に自分のオリジナルグッズが制作出来るため、年間のべ1531名の参加があった(2021年度年間参加者1146名、昨対比133.6%)。こちらもぬりえ素材と同様、足繁く通うリピーターでも楽しめるように季節に合わせた期間限定の素材を提供し、多くの参加があった。来館者に作品作りをより身近に感じてもらうため、今後も缶バッジワークショップを開催する。

プロも使用する着色画材コピックマーカーの基本を学ぶ「はじめてのコピックマーカー講座」

は大変人気が高く、年間17回開催し、のべ153名(9名/回)の参加があった(2021年度年間12回開催のべ63名の参加、5.25名/回、昨対比171.4%)。缶バッジワークショップでもコピックの基本的な使い方を伝え、また、季節に合わせて開催した「みんなで彩る!新潟市こいのぼり祭」、「雨空彩る!アンブレラスカイを作ろう!」「夏のご挨拶にいかがでしょうか?暑中お見舞いイラスト作成会'22」、「みんなで作ろう!ハロウィン百鬼夜行パレード!2022」「クリスマスカード&年賀状イラスト作成会'22」、「作っておくろう!バレンタインカード2023」他、でも積極的にコピックマーカを貸し出し、使い方の基本を学ぶ場とした。多くの参加者が本格的な画材に初めて触れる機会となり、リピーターは技術を磨く機会としてそれぞれ楽しんでいた。

上記コピックマーカを使用したぬりえメインのイベント講座に加えて、今年度は2月5日~3月5日の期間「ひな祭り」をテーマにしたイラストを募集し、館内展示コーナーに掲示する「みんなでつくろう!ひな祭りパーティ2023」を実施した。自宅で制作をして提出する方、講座・ワークショップの参加の際に知り、その場で制作をする方と様々な形で作品を提出いただき、約1ヶ月間で12名の応募があった。併せて参加者には画材等プレゼントのクジ引きも実施し好評を得た。創作活動の活性化に繋がる為、今後も季節に合わせて同様の形式でイベントを開催する。

また、『マンガの家開館10周年特別企画』として、花野古町と笹団五郎の衣装を描く「古町と団五郎させかえコレクション」も実施。参加者自身が考えた衣装を描く他にも、スタッフが作成した見本の通りに作ろうと真剣に見比べながら模写をする姿が見られた。

他にも、マンガ制作の基本的な描画方法を伝える内容や、頭の体操で創作のヒントを掴む内容で講座を開催し、2021年度の「マンガのいっぽ」参加者が482名のところ、2022年度は666名で昨対比138.2%であった。今後も様々なイベント講座を開催し、より一層の創作活動の振興を図る。



① 新潟市新津美術館との連携事業『出前美術館』『マンガワークショップ』

新潟市新津美術館主催の出張型美術授業(アウトリーチ)も今年度で10年目となる。今年度は2校にて実施。対象は小学校1年生~中学生とし、新潟市新津美術館より各学校へ募集をかけていただいた。「誰でも描ける!簡単マンガキャラクターデッサン」と題し、デッサン法をマンガ的な解釈により敷居を下げながら示して実践させる。具体的には顔の描き方の基本、顔の向きを変える方法、人体構造の基本を1時間半前後で身に付ける内容。進捗を見ながら、講義した手法を活用して、簡単な四コママンガを完成させるワークショップも開催。冒頭には、情報館と家の

PR を入れ、館の広報活動として活用させていただくと共に、マンガ家、アニメーター、イラストレーター等の作業内容を伝えることで、職業啓発としての意味合いも含む授業とした。

受講した生徒達からは「前より顔が上手に描けるようになった」、「絵を描く事が好きになった」といったような感想が多数寄せられ、このジャンルにおける次代の担い手やファンを生み、併せてマンガを「文化」として普及する意味のある取り組みと実感している。今後も引き続き取り組んでいく。

■今年度実績

- ・新津第二小学校 4 年生 (72 名) 7 月 5 日 (火)
- ・小林小学校 6 年生 (34 名) 10 月 20 日 (木)



② 情報館・家独自のアウトリーチ

上記と同様の出張講座実施を希望する各学校、団体からの要望へ積極的に応えた。子どもたちへのキャリア指導、進路講話といった内容の希望があった場合は、マンガ家やアニメーターの仕事内容、実現の方法なども授業内容に含んでいる。こちらも引き続き取り組んでいく。

■今年度実績

- ・南万代小学校マンガ・イラストクラブ (42 名)
5 月 26 日、6 月 16 日、7 月 14 日、9 月 8 日、10 月 20 日、11 月 10 日、12 月 1 日…計 7 回
- ・坂井輪小学校 6 年生 (103 名) 9 月 6 日 (火)
- ・金津小学校 6 年生 (43 名) 11 月 1 日 (月)
- ・松浜中学校 1～3 年生 (34 名) 11 月 15 日 (月)



各学校からの総合的な学習によるインタビューの要望にも積極的に応えた。今年度は4校の依頼に応じて可能な限り回答した。職場体験学習は今年度3校7名の受け入れを行い、生徒たちの地域やマンガ・アニメという文化に対する理解を深める活動を助け、社会について学ぶ機会を提供できたと自負している。

■今年度実績

●「総合的な学習」でのインタビュー対応

- ・村上市立岩船中学校 3名 4月26日(火)
- ・中野小屋中学校 8名 4月27日(水)
- ・上山中学校 13名 5月20日(火)
- ・新津第五中学校 3名 10月4日(木)

●「総合的な学習」での職場体験

- ・鳥屋野中学校 3名 7月7日(木)、8日(金)
- ・東新潟中学校 3名 7月25日(月)、26日(火)、27日(水)
- ・関屋中学校 1名 10月4日(火)

6. 広報

情報館・マンガの家の広報について、日常的なものとしては各施設ホームページとツイッターを中心に展開した。ツイッターに関してはこのジャンルを好む層に向けて大変有効な伝達手段であるため、その反応をつぶさに分析しながら、昼夜問わず効果的なタイミングで展開した。

また、実行委員会制の中で地元放送局との連携も強化され、企画展ごとのTVCMを多く打つことができた。いわゆるSNS世代だけではなく、より幅広い層に認知を広げていくためにはTVの活用は必須と考えており、今後も積極的に展開していきたい。

【主な広報実績】(※のべ97媒体に掲載)

- ① TVCM：情報館開催各展（各15秒）
- ② TV・ラジオ中継：共催する地元TV・ラジオ局の番組の一コーナーやニュース

- ③ タウン誌：月刊にいがた、月刊新潟 Komachi
- ④ 新聞、折り込み情報紙：新潟日報、新潟情報、読売コミュニティ(新潟版)、タウンウィークリー、週刊 Voice!(会津)
- ⑤ WEB サイト：日刊にいがた WEB タウン情報、新潟情報 Web、Komachi Web、&Komachi、おで Café、まいぶれにいがた

7. 普及啓発事業

情報館及びマンガの家の普及啓発を目的として、自主事業利益金の一部を用いて実施。

実施月	内容
7月	「第25回にいがたマンガ大賞作品集」における、情報館及びマンガの家の広告掲載料の支出
	マンガの家夏休みイベント案内チラシの製作及び印刷料の支出
10月	『王立宇宙軍 オネアミスの翼』4K リマスター版がT・ジョイ新潟万代で上映されるにあたり、情報館常設展示「声優になってみよう!!」での同作品アフレコ体験のPRパネルを作成してT・ジョイ新潟万代に設置し、情報館への来館を促した。
12月	マンガの家冬休みイベント案内チラシの製作及び印刷料の支出
3月	情報館で開催「10周年ポスター展」にて、情報館及びマンガの家で過去に開催した企画展のポスター画像96点を経師出力して設置し、情報館への来館を促した。
	情報館外周壁面に「新潟県×五等分の花嫁 新潟米キャンペーン」として、描き下ろしビジュアルのフォトスポット(高さ2.4m×横4.0m)を経師出力して設置し、情報館への来館を促した。

8. その他

(1) 外部研修・会議等

本年度は完全ではないものの、コロナ禍が明けた雰囲気醸成されて、直接参加型の外部研修の開催もチラホラと見受けられた。また、同時にZoomによるオンライン方式での研修や会議はすでに一般化されており、プロモーターや設営業者等との打ち合わせや会議はオンラインで行われている。

■参加した研修・説明会

- ① ハラスメント研修
- ② 電子帳簿保存法改正及びインボイス制度 WEB 勉強会・説明会
- ③ 施設保全研修会

(2) 県外・国外からの来館者数の把握

前年度に引き続き、県外や国外からの来館者数を把握する為、どこから来たかをシールで貼っ

てもらうマップを作成し、情報館・マンガの家両館に設置している。

本年度はコロナ禍の影響をほぼ受けず、また、「全国旅行支援」の後押しもあり県外や海外からの来館者が大幅に増えた。